



修復前 before restoration



修復後 after restoration

## 大日如来坐像

Seated Dainichi Nyorai (Mahavairocana tathagata)

木造

像高 60.7 cm

鎌倉時代 1178年

浄瑠璃寺 京都

Wood

H 60.7 cm

Kamakura period, dated 1178

Jyoruri-ji Temple, Kyoto

本像は、普段は非公開であるため、あまり人目に触れられてはいませんが、運慶が安元2年(1176)に造像した奈良円成寺大日如来像(国宝)など平安末期から鎌倉初期の慶派による作例に極めて類似した特徴を示す像として、研究者たちの注目を集めてきた。

制作年は承安元年(1171)とも治承二年(1178)ともいわれているが、いずれにしても運慶とは異なる奈良仏師が円成寺大日如来像と同じ規範に拠って造像したものと考えられている。

虫蝕の進行が発見され、また矧ぎ目のズレも著しく、解体修理が行われた。